

技術概要書（様式）

※別

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）		
技術名称	防災マネジメント支援システム『Stage』	担当部署	福岡支店 営業企画部
NETIS登録番号		担当者	児玉・松本
社名等	日本工営株式会社	電話番号	092-475-7131
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機		
	・近年、気候変動の影響により、洪水被害が全国で増加しています。洪水被害を防止・軽減するためには、洪水をダムで貯留したり、降雨予測や河川水位予測に基づいた適切な避難情報を発令するなど、様々な対応が必要です。 ・現在の日本は人口減少が進み高齢者をはじめとした災害弱者が増加していますが、支援する行政の職員や若い働き手も減少しており、この傾向は今後ますます進んでいきます。 ・このような状況に対応していくためには、より早い段階で見通しを立て、少ない人手でも対応できる体制づくりが必要です。 ・そうした課題に日本工営は取り組み、 <u>平時・切迫時・復旧時の各ステージに応じて必要となる情報を一元化・集約したクラウドサービスとして、防災マネジメント支援システム『Stage』</u> を提供しています。		
	2. 技術の内容		
	『Stage』は、以下3つのサービスをパッケージ化したものになります。 【平時】準備 ⇒ 予測雨量閲覧システム「Preview」 河川・ダム等の実況値や、気象庁が提供している7種類の <u>予測雨量を一度に閲覧可能</u> 。（最大11日先まで把握可能） 特許技術を導入し、理解しやすい閲覧画面に。 <u>水文情報の一元監視</u> （水系単位、事務所単位、管理ダム全て等）も可能。 【切迫時】行動 ⇒ 災害対応等支援システム「防すけ@」 気象・水文情報、洪水氾濫・土砂災害情報、生活基盤情報等の情報をリアルタイムに収集・解析し、 <u>地図画面上に集約・表示</u> 。 <u>解析した水位・流量・氾濫予測情報を提供</u> 。衛星、SNS、センサーによる <u>懸案箇所の浸水状態把握</u> に関連した情報提供も可能。 【復旧時】共有 ⇒ 災害時情報共有システム「Manesus(災害版)」 クラウドシステム上で <u>災害発生情報、進捗管理情報を一元管理</u> 。関係者が <u>リアルタイムで情報共有</u> 。 現地の情報や作業報告のスマホ登録ができ、 <u>報告様式の自動作成</u> も可能。平時にはインフラ管理に活用。		
	3. 技術の効果		
	・「Preview」「防すけ」「Manesus(災害版)」を柱とした当社独自サービスにより、自然災害への事前の備え、迅速な判断・行動、関係者との連携・共有をオールインワンで管理することが可能になります。 ・自然災害対応に携わるあらゆる担当者の負担軽減・時間短縮・業務効率化をより一層強化・深化するため、顧客ニーズと課題解決に繋がる提案を、当社の様々な領域のノウハウを活かした確に应えていきます。		
	4. 技術の適用範囲		
	行政: 河川・ダム管理者、危機管理系、防災系、道路系、農林系、その他工事・防災行動系 など 民間: 物流関係、農家、エネルギー管理関係、公共交通機関、イベント会社、教育機関 など		
	5. 活用実績		
	○予測雨量閲覧システム「Preview」 全国の国、都道府県のダムや河川事務所等での利用実績あり ○災害対応等支援システム「防すけ@」 九州圏内では 筑後市 他 全国の自治体での利用実績あり ○災害時情報共有システム「Manesus」 茨城県、埼玉県をはじめとする全国の国、都道府県の土木事務所、建設事務所、河川・道路課 等での利用実績あり		

防災マネジメント支援システム<Stage>

